

山口大学知的財産教育 FD・SDコンテンツ一覧

1コンテンツの実施時間: 全て90分(1コマ)

①…教員向けFD

②…教職員向けSD

③…研究支援者(URA, コーディネータ等)向けSD

④…管理部門教員向けSD

no	総論 概論	著作 権	産業 財産 全般	特許 情報・ YUP ASS	知財 教育 導入	研究 倫理	農業	ものづ くり	教授 法・評 価	法解 釈	その他	コンテンツ名	内容	①	②	③	④
1	●											高等教育(大学)における知的財産教育の導入とその効果	これまでの大学の産学連携に関わる事業の成果を生かし、知的財産教育を実施することで見てくる大学の未来や将来について事例に基づき解説を行ないます。	●	●		●
2	●											大学運営と知的財産教育	大学における知的財産教育の役割についてワークショップを通じて検討し、大学経営に役に立つ知財戦略についてワークショップを通じて理解を深め合います。	●			●
3	●											知財教育FD活動を大学経営革新に活かすプロジェクトマネジメント	プロジェクトマネジメントの観点より、時間、予算、期待される効果、人的活用、期待される効果等をワークショップを通じて検討を行ないます。	●			●
4	●											実践を通じた知財教育FD活動を大学経営革新に活かすプロジェクトマネジメント	大学教育改革の一環として知的財産教育の導入をプロジェクトマネジメントの観点よりワークショップを通じて検討を行ないます。ワークショップの目的として、学内等の教育機関での知的財産教育の導入を想定を対象とします。	●			●
5	●											大学教職員のための知的財産管理の基礎	これまで大学における知的財産関連事業の成果を生かし、大学の教職員に必要と考えられる知的財産の意義や知的財産に関わる業務等の解説を行ないます。		●	●	
6		●										大学人として知っておきたい著作権(基礎編)	数多くの大学などの講演や授業経験者から、大学の教員として知っておくべき著作権やその対応方法について過去の判例などに基づき、解説を行ないます。		●		
7		●										大学人として知っておきたい著作権(活用編)	数多くの大学などの講演や授業経験者から、大学等の教育機関における研究活動に関わる著作権やその対応方法について解説を行ないます。		●		
8		●										大学人として知っておきたい著作権(応用編)	数多くの大学などの講演や授業経験者から、大学等の教育機関と企業との共同研究等で発生する著作権への問題やその対応方法について過去の事例などに基づき、解説を行ないます。		●		
9		●										研究活動と著作権	研究活動の多くには論文や報告書等の著作物が大きな役割があります。役割が大きいため、その扱いには知識やスキルが必要です。研究活動における著作権についてさまざまな事例をもとに解説を行ないます。		●	●	
10		●										大学運営における効果的な著作物の活用	大学ではさまざまな種類の著作物を数多く取り扱う機会があります。それらの著作物を効果的に利用し、大学運営や評価にパフォーマンスとして出すために著作物の効果的な大学経営の利用について専門的な観点より解説を行ないます。				●

no	総論 概論	著作 権	産業 財産 全般	特許 情報・ YUP ASS	知財 教育 導入	研究 倫理	農業	ものづ くり	教授 法・評 価	法解 釈	その他	コンテンツ名	内容	①	②	③	④
11			●									大学運営における効果的な産業財産の活用	これまでの大学の産学連携に関わる事業の成果を生かし、大学運営における研究成果を産業財産として活用する方法やノウハウについて解説を行いません。				●
12											●	大学財務管理と知的財産マネジメント	これまでの大学の産学連携に関わる事業の成果を生かし、大学の財務管理と知的財産マネジメントの観点より大学の財務管理について解説を行いません。				●
13						●						研究倫理を教える技術	講義や学生指導で取り扱う必要のある研究倫理について最新情報や他大学の状況などを解説し、必要となる知識の習得を行いません。さらに、学生が効果的に研究倫理の能力を習得するための教授法について紹介を行いません。	●			
14						●						教員と学生の教育・研究を促進するツールとしての研究倫理	教員のみならず、研究活動に関わりのある学生を教育・指導していくためには研究倫理力を身に付けておく必要があります。教員と学生とが教育や研究を進める上で身に付けておきたい研究倫理について解説を行いません。	●	●		
15									●			授業における適正なレポート作成への教授法の検討	講義における「レポート作成」は重要な学習(成績)評価の対象になります。しかしながら、情報の進展に伴い、コピペが容易に可能になり、多くの先生方が頭を痛めておられるかと思えます。講義時に学生たちにコピペの指導を行なう際の教授法についてワークショップ等を用いて指導方法を検討します。ワークショップでは研究倫理を教材としたカリキュラムの作成を目指します。	●			
16				●								文系理系学生を対象とした特許情報を活用したカリキュラム開発	文系理系の学生を対象とした特許情報を活用した効果的なカリキュラムの開発を事例に基づき紹介・解説を行いません。	●			
17				●								特許情報の講義への効果的な活用方法(理系学生向けの教授法)	特許情報には企業や研究のヒントになる多くの有益な情報が含まれています。特許情報を利用した授業について教材開発や教授法について教育方法を用いて検討を行いません。	●			
18				●								特許情報の講義への効果的な活用方法(文系学生向けの教授法)	文系学生にとって身近ではないと思われる特許情報ですが、特許情報には企業や研究のヒントになる多くの有益な情報が含まれています。特許情報を利用した授業について教材開発や教授法について教育方法を用いて検討を行いません。	●			
19				●								YUPASSの基本的な操作方法	YUPASSの基礎的な操作方法について解説を行いません。	●	●	●	
20				●								YUPASSを活用した分析方法	YUPASSを活用した分析について操作方法や効果的な分析方法について解説を行いません。	●	●	●	
21				●								YUPASSを活用した特許マップ機能作成支援の活用	YUPASSを用いた特許マップ機能を用いて作成方法(年別出願件数のグラフ化機能など)について解説を行いません。	●	●	●	
22				●								YUPASSを活用した特許マップ機能作成支援機能を活用した分析	YUPASSを用いた特許マップ機能で用いて作成した特許マップの読み方について解説を行いません。	●	●	●	

no	総論 概論	著作 権	産業 財産 全般	特許 情報・ YUP ASS	知財 教育 導入	研究 倫理	農業	ものづ くり	教授 法・評 価	法解 釈	その他	コンテンツ名	内容	①	②	③	④
23				●								YUPASSの活用(初級)	YUPASSの基本的な操作方法の習得者に対して、YUPASSを活用した基本的な手法を身に付けます。	●	●	●	
24				●								YUPASSの活用(中級)	YUPASSの基本的な操作方法の習得者に対して、YUPASSを活用してより効果的な検索方法について紹介を行ない、実際に課題をもとに検索を行ないます。	●	●	●	
25				●								YUPASSの活用(上級)	YUPASSの基本的な操作方法の習得者に対して、研究者や法務担当者を対象とし、YUPASS及びJPaltPatを活用した効果的な検索方法の紹介を行ないます。	●	●	●	
26				●								YUPASSを活用した教材開発	YUPASSを活用した効果的な教材開発について実務者やYUPASSの開発者から解説を行ないます。	●		●	
27				●								効果的なYUPASSを活用した授業の実際	YUPASSを活用した効果的な学部生や大学院生を対象とした教材開発について実務者やYUPASSの開発者から解説を行ないます。	●		●	
28				●								特許情報検索①	特許情報について、キーワードを用いた特許情報検索スキルを習得を目指します。また、研究開発の現場における特許情報の活用に検索の技術の習得を目指します。	●	●	●	
29				●								特許情報検索②	特許情報の検索のうち、理系研究者や学生にとって国際特許分類(IPC)やファイルインデックス(FI)などを用いた実践的な特許情報検索スキルを習得を目指します。また、特許マップについてその意義を理解し、活用や実際に活用している講義の様子について紹介を行ないます。	●	●	●	
30				●								意匠情報の講義への効果的な活用方法(理系学生への教授法)	特許情報の中の意匠情報には企業や研究のヒントになる多くの有益な情報が含まれています。意匠情報を利用した授業について教材開発や教授法について教育理論を用いて検討を行ないます。	●			
31				●								意匠情報の講義への効果的な活用方法(文系学生への教授法)	文系学生にとって身近ではないと思われる特許情報ですが、特許情報の中の意匠情報には企業や研究のヒントになる多くの有益な情報が含まれています。商標情報を利用した授業について教材開発や教授法について教育理論を用いて検討を行ないます。	●			
32				●								意匠情報検索	意匠制度の概要を理解する共に、物品名や意匠分類等を用いた意匠情報検索スキルを習得します。また、意匠制度だけでなく総合的な観点からデザイン保護について考えるきっかけとし、講義への利用を考えます。」	●	●	●	
33				●								商標情報の講義への効果的な活用方法(理系学生への教授法)	特許情報の中の商標情報には企業や研究のヒントになる多くの有益な情報が含まれています。商標情報を利用した授業について教材開発や教授法について教育方法を用いて検討を行ないます。	●			

no	総論 概論	著作 権	産業 財産 全般	特許 情報・ YUP ASS	知財 教育 導入	研究 倫理	農業	ものづ くり	教授 法・評 価	法解 釈	その他	コンテンツ名	内容	①	②	③	④
34				●								商標情報の講義への効果的な活用方法(文系学生への教授法)	文系学生にとって身近ではないと思われる特許情報ですが、特許情報の中の商標情報には企業や研究のヒントになる多くの有益な情報が含まれています。商標情報を利用した授業について教材開発や教授法について教育方法を用いて検討を行ないます。	●			
35				●								商標情報検索	商標制度の概要を理解するとともに、称呼や図形等分類を用いた商標情報検索スキルを習得する。さらに、得られた情報の効果的な活用方法の事例として「地域活性化」の観点から商標戦略について商標情報に基づいた授業の検討を行なう。	●	●	●	
36				●								特許情報を活用したキャリア教育	特許情報をキャリア教育の観点から利用した企業や産業界への検索方法について提案を行ないます。特許情報には企業の開発や売り出したい先行的な研究成果があります。それを活用したブッシュ型のキャリア教育への活用方法について解説を行ないます。	●	●	●	
37								●				ものづくりと知的財産①～知的財産を取り巻く概況～	主要国の特許出願状況や特許制度のルーツなどから知的財産制度の意義・目的を理解し、知的財産制度と社会との関係性を把握します。それを踏まえ、なぜ今知的財産が注目されているのかについて考える授業の構築を目指します。	●			
38								●				ものづくりと知的財産②～知的財産の基礎知識～	知的財産権制度の全体像を理解し、私たちの身の回りにはたくさんの知的財産があることを認識し、社会における知的財産の価値を把握する。・実際の商品を題材とし、どのような知的財産・発明が実装されているのかを考え、またその価値について検討します。	●			
39								●				ものづくりと知的財産③～いろいろなものづくりと知的財産～	身近なものづくりの実例とそれに関する知的財産を把握し、ものづくりと知的財産の関係性について検討します。	●			
40								●				ものづくりと知的財産④～発明の本質を捉える～	発明の本質、ものづくりや研究開発現場における発明の把握のステップについて理解するし、従来技術の把握の重要性を理解し、発明創作の現場での活用について考える。	●			
41								●				ものづくりと知的財産⑤～請求項作成演習～	特許出願に必要な書類(願書・特許請求の範囲・明細書・図面・要約)を把握し、特許請求の範囲の重要性を理解し、身近な製品を取り上げて請求項の作成演習を行うことで、発明の本質を捉え、それを客観的に表現することについて理解を深めます。	●			
42								●				ものづくりと知的財産⑥～特許権の範囲・効力～	特許権の効力と侵害行為をした者に問われる責任について理解し、身近な製品の特許訴訟事例から、特許権侵害の判断基準について検討を行ないます。	●			

no	総論 概論	著作 権	産業 財産 全般	特許 情報・ YUP ASS	知財 教育 導入	研究 倫理	農業	ものづ くり	教授 法・評 価	法解 釈	その他	コンテンツ名	内容	①	②	③	④
43								●				ものづくりと知的財産⑦～発明創作と発明内容の整理～	ワークショップ形式で、従来技術の課題を抽出し、それを解決するためのアイデア発想と試作品の制作を行いません。また、試作した内容を発明として捉え整理し、発表などの評価を行いません。	●			
44									●			知的財産教育のカリキュラム作成(全体)	学生の状況にニーズを考慮した授業計画、教材開発、教育方法及び学習評価について解説を行いません。	●			
45									●			知的財産教育のカリキュラム作成(授業計画)	学生の状況にニーズを考慮した授業計画・授業デザインについてワークショップを通じて検討を行いません。	●			
46									●			知的財産教育のカリキュラム作成(教材開発)	学生の状況にニーズを考慮した教材開発についてワークショップを通じて検討を行いません。	●			
47									●			知的財産教育のカリキュラム作成(教育方法)	学生の状況にニーズを考慮した教育方法についてワークショップを通じて検討を行いません。	●			
48									●			知的財産教育のカリキュラム作成(学習評価)	学生の状況にニーズを考慮した学習評価についてワークショップを通じて検討を行いません。	●			
49	●											知的財産教育研修(初級)	知的財産に関わる基本的な知識習得を基礎とし、知的財産教育を実施する上で必要となる知識(特許権及び著作権)の習得を行いません。	●	●		
50	●											知的財産教育研修(中級)	知的財産に関わる基本的な知識習得を基礎とし、知的財産教育を実施する上で必要となる知識(特許権、著作権、実用新案権、意匠権及び商標権)の習得を行いません。	●	●		
51	●											知的財産教育研修(上級)	知的財産に関わる基本的な知識習得を基礎とし、知的財産教育を実施する上で必要となる知識(特許権、著作権、実用新案権、意匠権、商標権及び不正競争防止法及び関係する法律)の習得を行いません。	●	●		
52	●											知的財産教育(初級)	知的財産に関わる基本的な知識習得を基礎とし、知的財産教育を実施する上で必要となる教育的な技術(授業計画)の習得を行いません。	●	●		
53	●											知的財産教育(中級)	知的財産に関わる基本的な知識習得を基礎とし、知的財産教育を実施する上で必要となる教育的な技術(教材開発)の習得を行いません。	●	●		
54	●											知的財産教育(上級)	知的財産に関わる基本的な知識習得を基礎とし、知的財産教育を実施する上で必要となる教育的な技術(教育方法・学習評価)の習得を行いません。	●	●		
55											●	知的財産教育に関するQ&A	知的財産教育の授業運営や企画について、会場からの質問やコメントを中心としたインタラクティブな研修会を実施します。疑問やコメントをその場で解決することができます。	●	●		
56											●	知財情報の提供	知的財産に関わる法律についての最新トピックスなどの情報提供を行ない、開発した教材の教授法について解説を行いません。	●			
57											●	法改正に伴う教材の提供	法改正等に対応できる教材を提供すると共に、教授法について解説を行いません。	●			

no	総論 概論	著作 権	産業 財産 全般	特許 情報・ YUP ASS	知財 教育 導入	研究 倫理	農業	ものづ くり	教授 法・評 価	法解 釈	その他	コンテンツ名	内容	①	②	③	④
58					●							知財教育(技術者・経営者向け)	マネージメント担当者を対象とし、「知的財産教育・人材育成」を導入する際の方法や取り組み方について山口大学の事例に基づき、紹介を行いません。	●			
59					●							教員向けの教材開発の企画立案	教員向けの教材の開発方法についてこれまでの成果を生かし、教育的な支援を行いません。	●			
60					●							教員向け知財研修教材作成	教員向け知財研修の教材開発を行いません。	●			
61					●							知的財産の学習内容に係わる模擬授業による教授法	教員に対して知財教育が行えるように模擬授業をもとに支援を行いません。	●			
62					●							成績評価方法等の企画立案	教員向けに成績評価の方法についてこれまでの成果を生かし、教育的な支援を行いません。	●			
63					●							教育専門スタッフ養成の企画立案	教育専門スタッフ(知的財産に関わる教育職員など)に対して、これまでの成果を生かし、教育的な支援を行いません。		●		●
64									●			山大モデル一式移植の企画立案	山口大学で開発した「山口大学モデル」に基づき、教材の提供を行なうとともに、教授法について解説を行いません。	●			
65									●			山大で実施した授業ビデオ提供	山口大学で過去に収録したビデオ教材や学習教材について使い方や利用方法について教授を行いません。	●			
66							●					農学系学生向けの知財教育教材と教授法	山口大学で開講している知財展開科目「農業と知的財産」の教材を用い、講義内容と、講義の形態や指導のポイント、学習効果について考えます。	●			
67							●					「品種登録制度」に関する教材と教授法	食糧生産の増大や付加価値の向上など農業に多面的に寄与され、社会的ニーズは高まっています。大学教育においても、実務である農業の視点から「品種改良(遺伝資源含む)」について期待されています。そのことから、品種改良に大きな影響を与える品種登録制度についてカリキュラム・教材開発の教育方法を検討し、授業改善や事業実践につなげます。	●			
68							●					「農業分野の特許・意匠」に関する教材と教授法	農業生産の効率化や植物工場といった農業関連の特許(実用新案含む)と意匠の講義を実施するためにカリキュラム・教材開発の教育方法を検討し、授業改善や教育実践につなげます。	●			
69							●					「農業分野の商標やその他関連法規」に関する教材と教授法	6次産業化で注目される農業の販売分野に関わる知財として、商標とその他関連法規(不正競争防止法、地理的表示法、機能性食品表示制度等)のカリキュラム・教材開発の教育方法を検討し、授業改善や教育実践につなげます。	●			

no	総論 概論	著作 権	産業 財産 全般	特許 情報・ YUP ASS	知財 教育 導入	研究 倫理	農業	ものづ くり	教授 法・評 価	法解 釈	その他	コンテンツ名	内容	①	②	③	④
70							●					農業分野の知的財産に関するケーススタディ～教材事例と教授法～	農業分野の知財に関連する訴訟事例や、知財を活かした農業経営及び関連産業の経営事例についてケース教材を用いて、カリキュラム・教材開発の教育方法を検討し、授業改善や教育実践につなげます。	●			
71							●					農学系（農業及び6次産業分野含む）に関する知財科目の学部生向け授業デザインとカリキュラム開発	農業・農学分野の学習領域について、知的財産の観点より「創造・保護・活用」及びそれらを活かした戦略的思考を身に付けることを目的とした授業デザインやカリキュラム開発をワークショップ形式で行い、授業の検討を行います。	●			
72								●			●	課題の発見とアイデア創出（フレームワーク思考Ⅰ）	「発明は課題の発見で半分完成している」と言われる程、知的財産において課題発見は重要な要素です。日常生活や学生の専門領域の中に潜在している課題を見出し、それを解決するアイデア発想の演習を通じて創造性を磨く授業方法について検討します。	●			
73								●			●	アイデアのブラッシュアップ（フレームワーク思考Ⅱ）	適切な課題を掴み、それを解決するアイデア発想の段階に進んでも、よいアイデアが中々浮かばないことがほとんどです。ここではアイデア発想の方法をスキルとして身に付ける複数のフレームワークを用いてワークショップを行うことで、その教材化や授業方法について検討します。	●			
74								●			●	学習者同士の学びを重視したアクティブラーニング型の知財教育	大学の学びの質保証が求められている現在、学習者主体の授業（講義）形態が求められています。学習者同士の学びを重視したアクティブラーニングを取り入れた知的財産教育の取組みについて紹介するとともに、その学習効果について学習者特性の観点からについて紹介を行います。	●			
75								●				アクティブラーニングを取り入れた知的財産教育の実践の検討	大学の学びの質保証が求められている現在、学習者主体の授業（講義）形態が求められています。学習者同士の学びを重視したアクティブラーニングを取り入れた知的財産教育の取組みについてワークショップを通じて体験してもらいます。ワークショップの目的として、実際の授業（講義）を想定し、参加者それぞれが知的財産に関わる学習内容をもとに授業デザインを行います。	●			
76								●				アクティブラーニングを取り入れた知的財産教育のシラバス作成	大学の学びの質保証が求められている、学習者主体の授業（講義）形態が求められています。学習者同士の学びを重視したアクティブラーニングを取り入れた知的財産教育の取組みについてワークショップを通じて検討を行います。ワークショップのまとめとして、実際の授業（講義）を想定し、参加者それぞれが知的財産に関わる学習内容をもとにワークショップを通じて、シラバスの作成を行います。	●			

no	総論 概論	著作 権	産業 財産 全般	特許 情報・ YUP ASS	知財 教育 導入	研究 倫理	農業	ものづ くり	教授 法・評 価	法解 釈	その他	コンテンツ名	内容	①	②	③	④
77									●			反転授業を取り入れた知的財産教育の実際	反転授業を取り入れた知的財産教育の取組みについて紹介を行いません。	●			
78									●			学習者の学修評価の知的財産教育-ループ リックを取り入れて-	知的財産教育の学習の成果を測るための1つの方法としてループリックが効果的であると考えられています。短期的・継続的ともに知的財産に関わる意識の育成には知識習得のみならず、意識の変容や態度の育成も考慮した評価方法を取り入れることへの効果について解説を行うとともに、ループリックへの理解を深めます。	●			
79									●			学習者の学修評価の知的財産教育-ループ リックを取り入れて-	知的財産教育の学習の成果を測るための1つの方法としてループリックが効果的であると考えられています。短期的・継続的ともに知的財産に関わる意識の育成には知識習得のみならず、意識の変容や態度の育成も考慮した評価方法を取り入れることへの効果について解説を行うとともに、ワークショップ等のグループ活動を通じて、授業で実際に使えるループリックの作成を行いません。	●			
80									●			学習支援システム(LMS)を取り入れた知的 財産教育の教育実践	学習支援システム(LMS)では学習教材を管理するだけでなく、学習者が必要とする学習教材等の提供も行うことが可能である。特に、近年、ビデオ教材などの活用が活発になる中、学習に必要となる教材を管理し、学習者に提供するコンテンツとしては有効である学習支援システム(LMS)を活用した効果的な知的財産教育の取組みについて紹介を行いません。	●			
81									●			学習者ニーズを把握する技法	効果的に知的財産学習を進めるために、学習者の知的財産に対する知識や意識を正確に把握し、良質な学習コンテンツを提供することが期待されています。学習者の置かれている状況を正確に把握する方法を統計学的な観点より解説を行ない、学習者のニーズを把握するための基本的な技法について取得を目指します。	●			
82									●			学習者意識の把握のためのアンケート作成 の方法	学習者の考えや状況を把握するための方法の1つに調査(アンケート)があります。学習者の状況や環境を客観的に把握するための有効な方法と考えられています。知的財産教育についても同様、学習者の知的財産の知識・意識について把握するために導入が進んでいます。客観的な情報収集を行うために調査項目等のアンケート作成方法について解説を行ない、基本的な調査項目の作成手法について習得を目指します。	●			
83					●							大学教育に知的財産を取り入れるための検 討	大学に実践的な知的財産教育を取り入れるために授業デザインやシラバス作成等の支援を行いません。	●			

no	総論 概論	著作 権	産業 財産 全般	特許 情報・ YUP ASS	知財 教育 導入	研究 倫理	農業	ものづ くり	教授 法・評 価	法解 釈	その他	コンテンツ名	内容	①	②	③	④
84	●											組織全体で知財感性を共有するために	知財の専門部門だけでなく、組織全体で知財の完成をきゅううすることが必要になってきている。組織全体で知財マインドを育成するためには知財人材育成のヒントや方法について紹介を講演形式で解説を行ないます。	●	●	●	●
85		●										広報活動に必要な「著作権」の基礎と実務～ポスター作製やWeb公開のための著作権の基礎～	広報担当だけでなく、どの部署に所属していてもチラシやHP等の作成に関わる機会があります。「WEBで公開されているイラストを使用してもよいのだろうか?」「GoogleMAPの地図画像をチラシに記載したい」著作権の基本を知り、安全な広報活動について考えます。	●	●		
86	●											あなたの知財意識が芽生える60分	知財の初心者の方を対象に、知財とは何か、についてお話いたします。	●	●		
87	●											研究支援者や事務担当者に役に立つ知財	入門編として、特許権や商標権にクローズアップして知的財産に関するリスク管理や知的財産を業務上について成長のカギとして活用する方法についてお話します。	●	●	●	
88						●						ワークショップ型: 研究倫理	全ての構成員を対象に、研究機関で働くことや学ぶために必要な研究倫理についてワークショップ形式を通じて理解を深めます。	●	●		
89						●						学生指導と研究倫理	講義での教育指導や研究指導に必要な研究倫理について解説を行ない、明日の授業から使える内容をお伝えします。		●		
90						●						大学人として必要な研究倫理	大学などの高等教育などの研究者にとって必要となる研究倫理について法律や判例に基づき解説を行ないます。	●	●		
91		●										教材開発における著作権の留意点	教材開発に必要な成る著作物への配慮について著作権法をベースに解説を行ないます。	●	●		
92									●			学生指導と知的財産	卒業研究や課題研究などを通じた学生指導のなかで配慮が必要な知的財産について解説を行ないます。	●	●		
93						●						研究倫理に期待される大学改革	教育機関などでは研究倫理への興味関心は高くなりつつあります。研究倫理をすべての構成員が身に付けることは大学の指導力の向上のみならず、研究力の向上にも影響を与えます。大学として研究倫理に取り組むことへの利点について解説を行ないます。	●	●		●
94									●			知的財産教育の教授・学習の教育実践(1)	初年次教育の知的財産教育を導入し、進める上での教授法方法や学習理論の解説を行ない、教育実践を目指します。	●			
95									●			知的財産教育の教授・学習の教育実践(2)	学部専門科目における知的財産教育を導入し、進める上での教授法や学習理論の解説を行ない、教育実践を目指します。	●			
96									●			知的財産教育の教授・学習の教育実践(3)	大学院の共通科目における知的財産教育を導入し、進める上での教授法や学習理論の解説を行ない、教育実践を目指します。	●			
97									●			知的財産教育の教授・学習の教育実践(4)	大学院の専門科目における知的財産教育を導入し、進める上での教授法や学習理論の解説を行ない、教育実践を目指します。	●			

no	総論 概論	著作 権	産業 財産 全般	特許 情報・ YUP ASS	知財 教育 導入	研究 倫理	農業	ものづ くり	教授 法・評 価	法解 釈	その他	コンテンツ名	内容	①	②	③	④
98										●		判例を用いた授業計画	判例を用いた効果的な授業計画について解説を行いません。	●			
99										●		判例を用いた教材開発	判例を用いた効果的な学習教材の開発の方法について解説を行いません。	●			
100										●		判例を用いた授業実践	判例を用いた効果的な授業実践について紹介を行いません。	●			
101										●		判例を用いた学習評価	判例を用いた学習教材を利用した教育実践の学習評価の方法について解説を行いません。	●			
102										●		知的財産に係わる複合的な判例理解	知的財産に係わる判例について読み方の技術の習得を目指します。	●			
103										●		産業財産権に係わる判例理解	産業財産権に係わる判例について読み方の技術の習得を目指します。	●			
104										●		著作権に係わる判例理解	著作権に係わる判例について読み方の技術の習得を目指します。	●			
105										●		研究者倫理に係わる判例理解	研究倫理に係わる判例について読み方の技術の習得を目指します。	●			
106										●		知財判例の読み方(初級)	知的財産に係わる判例の読み方について基礎的な技術の習得を目指します。	●			
107										●		知財判例の読み方(中級)	知的財産に係わる判例を読み、その周囲から読み取れる情報の習得方法を身に付けます。	●			
108										●		知財判例の読み方(上級)	知的財産に係わる判例を読み、関連する事項を検討できる能力を身に付けます。	●			
109										●		知財判例を用いた教材の開発	知的財産に係わる判例を読み、関連する事項を網羅した教材の開発方法について解説を行いません。	●			
110					●							シラバス作成～特許制度～	特許制度の理解に必要な学習のために効果的なシラバス作成の方法について解説を行いません。	●			
111					●							シラバス作成～実用試案制度～	特許制度の理解に必要な学習のために効果的なシラバス作成の方法について解説を行いません。	●			
112					●							シラバス作成～半導体回路配置権～	半導体回路配置権の理解に必要な学習のために効果的なシラバス作成の方法について解説を行いません。	●			
113					●							シラバス作成～意匠制度～	特許制度の理解に必要な学習のために効果的なシラバス作成の方法について解説を行いません。	●			
114					●							シラバス作成～商標制度・地理的表示法～	商標制度・地理的表示法の理解に必要な学習のために効果的なシラバス作成の方法について解説を行いません。	●			
115					●							シラバス作成～不正競争防止法制度～	特許制度の理解に必要な学習のために効果的なシラバス作成の方法について解説を行いません。	●			
116					●							シラバス作成～著作権法制度～	特許制度の理解に必要な学習のために効果的なシラバス作成の方法について解説を行いません。	●			
117					●							シラバス作成～種苗法～	特許制度の理解に必要な学習のために効果的なシラバス作成の方法について解説を行いません。	●			
118			●		●							教材開発～特許制度～	特許制度の理解に効果的な教材開発の方法について解説を行いません。	●			

no	総論 概論	著作 権	産業 財産 全般	特許 情報・ YUP ASS	知財 教育 導入	研究 倫理	農業	ものづ くり	教授 法・評 価	法解 釈	その他	コンテンツ名	内容	①	②	③	④
119			●		●							教材開発～実用試案制度～	実用新案制度の理解に効果的な教材開発の方法について解説を行ないます。	●			
120			●		●							教材開発～半導体回路配置権～	半導体回路配置権の授業の評価規準の作成, 評価方法の検討を行ないます。	●			
121			●		●							教材開発～意匠制度～	意匠制度の理解に効果的な教材開発の方法について解説を行ないます。	●			
122			●		●							教材開発～商標制度・地理的表示法～	商標制度・地理的表示法の理解に効果的な教材開発の方法について解説を行ないます。	●			
123			●		●							教材開発～不正競争防止法制度～	不正競争防止法制度の理解に効果的な教材開発の方法について解説を行ないます。	●			
124			●		●							教材開発～著作権法制度～	著作権法制度の理解に効果的な教材開発の方法について解説を行ないます。	●			
125			●		●							教材開発～種苗法～	種苗法の理解に効果的な教材開発の方法について解説を行ないます。	●			
126									●			評価方法(ルーブリックも含める)～特許制度～	特許制度の授業の評価規準の作成, 評価方法の検討を行ないます。	●			
127									●			評価方法(ルーブリックも含める)～実用試案制度～	実用新案制度の授業の評価規準の作成, 評価方法の検討を行ないます。	●			
128									●			評価方法(ルーブリックも含める)～半導体回路配置権～	半導体回路配置権の授業の評価規準の作成, 評価方法の検討を行ないます。	●			
129									●			評価方法(ルーブリックも含める)～意匠制度～	意匠制度の授業の評価規準の作成, 評価方法の検討を行ないます。	●			
130									●			評価方法(ルーブリックも含める)～商標制度・地理的表示法～	商標制及び地理的表示法の授業の評価規準の作成, 評価方法の検討を行ないます。	●			
131									●			評価方法(ルーブリックも含める)～不正競争防止法制度～	不正競争防止法制度の授業の評価規準の作成, 評価方法の検討を行ないます。	●			
132									●			評価方法(ルーブリックも含める)～著作権法制度～	著作権法制度の授業の評価規準の作成, 評価方法の検討を行ないます。	●			
133									●			評価方法(ルーブリックも含める)～種苗法～	種苗法の授業の評価規準の作成, 評価方法の検討を行ないます。	●			
134						●						講義と研究に役に立つ研究倫理	最近の学生の学習行動に基づいて, 効果が期待される講義や研究指導のための研究倫理の教育実践について紹介を行ないます。	●	●	●	
135										●		講義で使える知財判例	講義の導入や深い理解を促すときに効果である知財の判例について紹介するとともに, 教授法の解説を行ないます。	●			
136									●			インストラクショナルデザインを用いた知的財産教育	学習者の環境において最適な教育効果をあげる手法を目的としたインストラクショナルデザインを用いた知的財産教育について紹介を行ないます。	●			
137									●			ピアラーニングを活用した実践的知的財産教育	学習者同士の理解を促すことで学習内容の理解を深め, 定着を促すことが期待されるピアラーニングの手法を用いた知的財産教育を紹介します。	●			

no	総論 概論	著作 権	産業 財産 全般	特許 情報・ YUP ASS	知財 教育 導入	研究 倫理	農業	ものづ くり	教授 法・評 価	法解 釈	その他	コンテンツ名	内容	①	②	③	④
138									●			ICTを効果的に活用した知的財産教育	ICTを効果的に活用した知的財産に係わる知識の定着やスキル取得の事例について紹介を行ないます。	●			
139									●			ワークショップ型:ICTを効果的に活用した知的財産教育の検討	ICTを効果的に活用した知的財産に係わる知識の定着やスキル取得の事例について紹介を行ない、講義を想定したICTの活用方法について検討をワークショップを通じて行ないます。	●			
140									●			ビデオ教材の作成方法	ビデオ教材の制作について基本的な技術を紹介するとともに、効果的なビデオ教材について紹介を行ないます。	●	●		
141									●			ポートフォリオを活用した知的財産教育	形成的評価の1つとして効果が期待されるポートフォリオを活用した知的財産教育の取組みを紹介します。	●			
142									●			知的財産教育を始めるための授業デザイン-こんな授業あったらいいな-	授業デザインをワークショップ型で検討を行ない、実際の授業を考えていきます。	●			
143									●			講義方法のデザインとその技法	必要性の高まっているアクティブラーニングですが、知的財産に関わる学習内容においても法律や判例に基づいた学習形式、学生が知識を理解し、記憶するという効果的な技法を習得を目指します。	●			
144									●			知的財産教育における探究学習のデザイン	課題、問い、目標、タイムスケジュール、プロジェクトマネジメント、評価等があります。それぞれを適切な時間に適切なタイミングに設定する方法について学びます。	●			
145					●							知的財産に関わるシラバス作成	シラバスは授業の設計図であり、受講者との契約です。知的財産に関わる学習内容を受講生に十分に伝わり、授業で身に付ける能力等の記載は重要なものです。教えたこと、学習者に身につけさせたい能力、さらに学習者の状況に考慮した体系的なシラバスの作成を目指します。	●			
146									●			知的財産教育のグループ学習を授業に導入する方法	知的財産に係わる学習内容を用いたグループ学習を授業への導入について検討を行ないます。	●			
147									●			ビデオ教材を活用して授業をデザインする方法	手軽にビデオ教材を作成できるようになり、授業の可能性が広がっています。また学生たちにもこれまでにICTを効果的に利用できる身に付けてきており、ビデオ教材の有効性や効果が立証されています。ビデオ教材を利用し、効果的な授業実践を紹介し、ビデオ教材の効果について紹介を行ないます。	●			
148									●			知的財産教育にアクティブラーニングの導入方法と具体的な実践法	知的財産教育にアクティブラーニングの導入方法と具体的な実践法について紹介を行ないます。	●			
149									●			知的財産教育におけるパフォーマンス評価	知的財産教育実施におけるパフォーマンス評価の可能性について学習評価の観点から紹介を行ないます。	●			
150									●			知的財産教育における学修評価の基本	知的財産に係わる学習内容における学修評価について基本的な知識の習得を目指します。	●			
151									●			知的財産教育における学生のリフレクションを促す方法	知的財産教育における学生のリフレクションを促す方法について教育方法論の観点から解説を行ないます。	●			
152									●			大講義室における学習者とのインタラクティブ授業	知的財産学習内容における大人数の授業においてインタラクティブに実施する方法について紹介を行ないます。	●			

1コンテンツの実施時間:全て90分(1コマ)

①・・・教員向けFD

②・・・教職員向けSD

③・・・研究支援者(URA, コーディネータ等)向けSD

④・・・管理部門教員向けSD

no	総論 概論	著作 権	産業 財産 全般	特許 情報・ YUP ASS	知財 教育 導入	研究 倫理	農業	ものづ くり	教授 法・評 価	法解 釈	その他	コンテンツ名	内容	①	②	③	④
153									●			知的財産教育における形成的評価	講義実施に伴う学修評価について「形成的評価」の観点を用いた評価について成績評価とともに紹介を行なうと共に、実際に評価を体験します。	●			
154						●						科学の健全な発展に資する研究ノートの作成	大学で起こりうる論文共著者記述等、研究に纏わる紛争・裁判の急増に対応するための研究ノートの使用方法についてをお話いたします。		●	●	